

## II 委託研究課題概要

＜研究概要様式＞

【2024年度採択 連携研究スキームによる研究】

課題番号（e-Rad 課題 ID）：24036910

研 究 テ マ：「地域の持続可能性の実現に向けた農業経営の価値創造（CSV）  
及び多様なステークホルダーの役割に関する研究」

委 託 研 究 課 題 名：「農業の価値創造（CSV）を目的としたステークホルダー・  
パートナーシップに関する研究」

1 研究実施期間（西暦）：2024年度～2026年度（3年間）

2 予算規模：10,000 千円（2025年度）

3 代表機関・役職・研究開発責任者  
東京農業大学 教授 渋谷 往男

4 研究の目的・達成目標

地域の持続可能性の観点から、農業を取りまく多様なステークホルダーによる農業経営の価値創造（CSV）への貢献実態を明らかにするとともに、将来的な展望と取り組みについての可能性を提示することを目標とする。

5 研究の内容および実施体制

① 一般経営および農業分野における CSV の動向分析

諸外国や一般企業の経営戦略における CSV の位置づけと現時点でわが国の農業経営自体に理想型として求められている CSV のあり方を明確化することで、農業 CSV の方向性とその特性を明確化する。（東京農業大学国際食料情報学部）

② 農企業バリューチェーンにおける農業 CSV の分析

農業経営自体と密接に関わりのあるバリューチェーンの各主体からの支援実態を明らかにするとともに、現状の課題と将来展望、取り組みの可能性を明確化する。（東京農業大学国際食料情報学部）

③ 消費者における農業 CSV の分析

農産物・食品における CSV 経営に対する消費者の評価を明らかにし、現状と課題、将来展望を提示する。（東京農業大学国際食料情報学部）

④ 地域住民からみた農業 CSV の分析

地域の持続可能性の観点から地域住民について、居住者・消費者の立場から農業 CSV の取り組みの評価・要望と課題を明確化して各種の主体に求められる点を導き出す。（東北大学農学部）

⑤ 行政機関が関わる農業 CSV の分析

農業経営体に関わる行政機関における農業 CSV に関する支援など、その取り組み状況を分析し、農業経営体が CSV 創出の取組みを進めるために必要な、行政機関の支援方策を考察する。（東京農業大学国際食料情報学部）

⑥ 金融機関が関わる農業 CSV の分析

農業経営に不可欠な融資、投資の観点から CSV への対応の現状と課題を明確化する。特に融資等の条件および CSV 取組法人の財務的成果と社会的成果との関係性に着目する。（東京農業大学国際食料情報学部）

6 政策研究との連携の意義、期待される波及効果

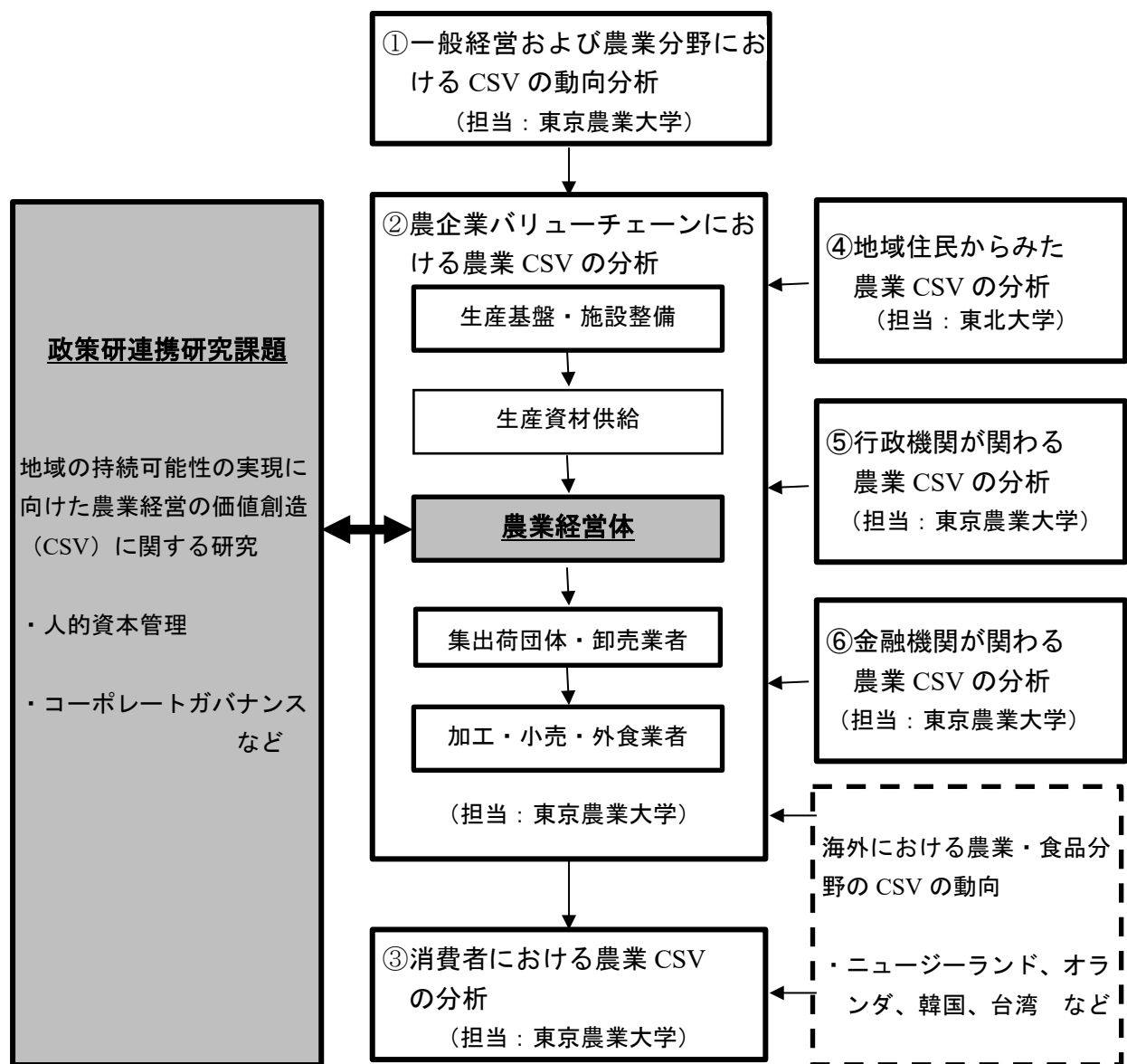
政策研究で想定している CSV 評価の枠組みおよび人的資本に着目した研究の成果と本研究の成果を統合することで、農業経営を取りまくステークホルダーの実態を踏まえた、効果的な地域の持続可能性向上方策を提言することができる。

【連絡先：東京農業大学国際食料情報学部 03-5477-2918】（代表機関の連絡先）

< 研究概要図 >

委託研究課題名	地域の持続可能性の実現に向けた農業経営の価値創造（CSV）及び多様なステークホルダーの役割に関する研究
---------	---

<p><b>【委託研究の目的・達成目標】</b></p> <p>農業の価値創造（CSV）を目的とした多様なステークホルダーによる支援実態を解明 → 農業経営体の価値創造（CSV）を促すために各ステークホルダーにおける課題を把握し、将来的な展望と各主体に求められる取り組みについて明らかにする</p>
---



<p><b>【政策研究との連携の意義、期待される波及効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 政策研究で実施する農業経営自体の価値創造（CSV）とは相互補完関係にある</li> <li>● 両研究を並行して実施することで農業経営を取りまく価値創造（CSV）活動を網羅的に把握して、わが国農業の方向性の転換に貢献することが可能となる</li> </ul>
--